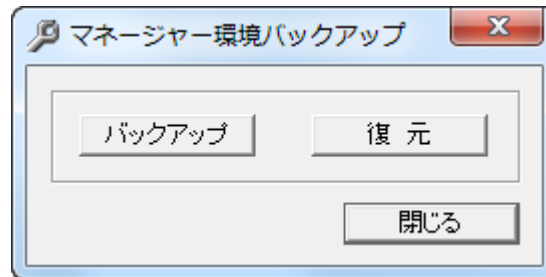


## マネージャー環境のバックアップ

万一の障害に備え、マネージャー環境のバックアップを適宜取ることをお勧めします。  
何らかの要因で環境が破壊されたり、データが消失したとしても、最後にバックアップを取った時点まで復旧することが可能です。  
必ず最後までこの説明をお読みいただいた上でご利用ください。



### 利用準備（バックアップ、復元の共通処理）

本機能を提供するバックアッププログラム「BackCtrl.exe」はマネージャープログラムがインストールされているフォルダ内に存在します。

C:\¥Program Files¥Cyberace¥Systemkeeper¥Manager （規定値）

「BackCtrl.exe」は格納されているそのフォルダ位置で実行することは出来ません。

新しくバックアップ用のフォルダを作成し、「BackCtrl.exe」をそのフォルダにコピーしてください。（フォルダ名は任意です）

### バックアップ方法

1. マネージャープログラムが起動している場合は、終了させてください。
2. バックアップ用のフォルダにある「BackCtrl.exe」を起動してください。
3. 「バックアップ」ボタンを押してバックアップ処理を開始してください。
4. バックアップ処理には、環境により数分から数十分の時間を要します。
5. バックアップ処理が終了すると、同一フォルダ内に「BackPack.dat」というファイルが作成されます。「BackPack.dat」にはマネージャーの動作環境(ファイル、レジストリ等)が保存されています。「BackPack.dat」は安全のため、暗号化された圧縮ファイルとなっておりますので、内容を確認することは出来ません。

「BackPack.dat」は復元時に利用しますので、安全な場所に保管してください。

### 復元方法

1. マネージャープログラムが起動している場合は、終了させてください。
2. バックアップ用のフォルダ内に、バックアップファイル「BackPack.dat」を配置してください。

- 3.バックアップ用のフォルダにある「BackCtrl.exe」を起動してください。
- 4.「復元」ボタンを押して復元処理を開始してください。
- 5.復元処理には、バックアップ時とほぼ同じ時間を要します。
- 6.復元終了後は一度コンピューターの再起動を行ってください。

#### 注意事項

- ・実行には管理者権限が必要です。
- ・ログデータなど、規定値以外のフォルダに保存されたファイルのバックアップおよび復元は出来ません。